

## (公財) 諏訪郷友会 平成 30 年度事業計画

平成 29 年度は、前年度に東京都立ち入り検査で指摘された、組織運営・事業活動及び会計処理等の課題の改善に取り組んだが、今年度もこれを継続し適正な法人運営につとめる。

公益目的事業の柱である学生寮長善館の運営は概ね順調に推移しており、館生委員会とも協議を重ねつつ生活環境の一層の充実を図る。

郷友会会員の研修交流事業としては「郷友会ニュース」の発行、夏季および秋季大会の開催、長善館オープンセミナーの開催等、例年通り実施する。

郷友会の財政強化のため平成 28 年度に発足した「財政健全化計画」(後述)は実施 3 年目に入るが、当面の施策「育英事業協力金の倍増キャンペーン」は前 2 年度の実績を踏まえ、目標額 400 万円の達成を目指す。

長善館卒館生を中核とする郷友会組織の強化に努め、諏訪地区で進む学年別幹事制の普及など一層の努力をしたい。

### <公益目的事業>

- 1 学生寮長善館の運営
  - 年間を通じて 40 室 40 人体制で運営
  - 入館選考手続き規程の順守と記録保存
  - 館生委員会活動助成の一件毎処理と領収証保存
- 2 研修交流会議の開催
  - 夏季郷里大会開催 (8 月 19 日 (日))
  - 秋季大会開催 (10 月 21 日 (日))
  - オープンセミナー開催 (夏季大会と併せ年 4 回)
- 3 会報等の発行
  - 「諏訪郷友会ニュース」夏号・冬号の刊行

### <収益事業>

- 1 長善館駐車場の経営
  - 新規契約者は契約更新料を仲介不動産業者に支払い
  - 未収金回収・支払い遅延の改善・敷金の正常化
- 2 太陽光発電の売電
  - 発電装置の保全につとめ、売電収益を確保

### <法人運営>

- 理事会運営・役員選任と担務・会計処理手続き等に関する諸規程の厳正な運用につとめる
- 平成 30 年 6 月予定の評議員・理事全員改選に備え人選を具体化

<事業計画別記>

諏訪郷友会「財政健全化計画」第3年度概要

1 個人会員（特に卒館生）対象の育英事業協力金倍増キャンペーン

- 趣旨：施設・設備・機器等の経年更新や将来の建て替え資金に備える
- 募集期間：当初予定の3年間を更に延長するかは新理事会で決める
- 年間納入目標額：400万円とする
- 募集方法：キャンペーンの趣旨を「郷友会ニュース」で周知し、振替用紙を同封。以降期間中もニュース等による告知と実績報告をする

2 財政健全化委員会の活動

平成15年の長善館全面建て替えに要した建設借入金の返済完了が10年以内に迫ったことを受け、返済負担(年額約1000万円)が解消した後に生れる資金的裕を見込んで、次の10年の郷友会・長善館の展望を探る。

<事業面>

- 学生寮事業の将来とより魅力的な学生寮の在り方

<資金面>

- 喫緊の課題である施設・設備老朽化対策の財源確保
- 建物躯体の大規模修繕の時期、積立金額、期間の選定